

第4学年「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

	各教科の課題	具体的な授業改善策	チェック
国語	○話すこと・聞くこと	○姿勢、体の向き、視線等の基本的な態度、メモをとりながら聞くなどの指導を行う。 ・指導者が簡潔に話す、分かりやすく話す、話の後聞き返す等心がけ、聞くことへの適切な習慣付けを図る。 ○伝えたい中心をはっきりさせ、結論を先に話す等、話形や話の組立て例を提示し、相手に明確に伝わるよう工夫させる指導をする。 ○話の中心に気を付けて聞き、自らの経験や考えと関連させながら、質問や感想を述べる指導をする。 ○共通点や相違点を考えながら相手の発言を聞き、自分の考えを話し合う機会を設ける。	
	○書くこと	○目的や意図に応じて書く事柄を整理し、相手意識をもって分かりやすく書かせる指導を行う。 ○話の中心を明確にさせ、メモやカードを使って段落構成を工夫して効果的な話の組み立てにする指導をする。 ○資料を活用して文章にいかす指導をする。 ○既習の教材文にある言葉や表現を活用するなど、言葉や表現の工夫を加えて作文させる指導をする。	
	○読むこと	○大まかな内容、文章構成をとらえさせる指導を行う。 ○読みの課題をもたせ精読段階へと臨む指導をする。 ○登場人物の性格や心情の変化、情景、文章の要点について、接続語や主語をヒントに自力で読み進める指導をする。 ○読み取ったことや考えたことを交流する場を設けて、自らの考えをより確かにさせたり、広げたりする指導を行う。 ○確実に読み取らせたい重要な部分については、教師主導にて指導を行う。 ○精読を通してとらえたことをもとに、自身と関わらせ考えをまとめさせる指導をする。	
	○漢字・言葉・読書	○漢字の書き取りを毎日ドリルまたはノートにてチェックするとともに、ミニテストにて定着を図る。 ○ことわざや慣用語、四字熟語等の紹介、詩の音読で言葉の世界を広げさせる。 ○情報機器活用のための学習を通じ、ローマ字入力経験を重ねることで、ローマ字への理解を広げさせる。 ○読書については、司書と連携し、推薦図書や読ませたい本を紹介して興味を広げ、学年相応の本を楽しめるようにする。	
社会	○地域における社会的事象から学習課題を見出す力	○授業では、実生活に即しためあての設定を工夫して関心を高め、課題をはっきりもたせる指導を行う。 ○教科書・資料集、地図帳などに加え、図書室の豊富な書物資料を活用できるようにする。 ○写真や映像資料の提示や、専門家による特別授業によって、理解への支援を図る指導を行う。 ○必要な統計資料の探し方やグラフや表の読み取りについて指導し、「読み取る力」の育成を図る指導をする。 ○レポートや新聞作成やグループ発表を通して、根拠となる資料を効果的に活用しながら理解したことや考えを表現させる指導を行う。 ○自ら調べたり、考えたりする活動を励ましつつ、知識面のおさえについては、教師が徹底を図る指導を行う。	
	○進んで調べ、資料から必要なことを読み取る力		
	○資料を根拠に事実を的確にまとめ、考えを表現する力		
算数	○東京方式少人数指導ガイドラインに基づいた指導の工夫	○単元ごとにレディネステスト(準備)を行い、習熟度や取り組み方等によりクラスを分ける。 ○実態に合わせ指導計画を柔軟に扱う。～難しい内容、理解に時間がかかっている単元では、進度に余裕をもたせる対応をとる。 ○新単元に入る前には、指導内容の系統に沿って、前学年での内容の復習と必要に応じて立ち戻らせる。 ○学習に課題のある児童に対しては、特別支援指導員と連携した指導を行う。	
	○基礎的・基本的な知識・技能の習得	○毎日のプリントなどを活用し、つまずきの多い繰り下がり筆算、桁数の多い筆算等の計算練習を継続する。 ○ものさし、三角定規、コンパス、分度器の使い方について、一人一人の作図の様子をチェックし、徹底を図る。	
	○数学的な思考力・判断力・表現力の育成	○新しい学習内容に臨む際は、常に既習事項を使って考えたり解いたりすることを習慣付ける指導を行う。 ○問題文から、図や表・数直線に表し、数量の関係を示して考える指導を行う。 ○解法等の自分の考え方について、自らの言葉や電子黒板等説明しやすい手段で説明させる。 ○自他の解き方の違いをとらえ、複数の考えがあることを知り、自らの思考に取り入れる指導をする。 ○数値や場面を変えた類題を数多く取り組ませて、解決方法の一般化を図り、確実な定着を図る。 ○進度に合わせ、個別支援、発展課題、問題作り等、個に応じた課題を与える。 ○基本的な内容の確実な定着を図るため、ドリルやプリント学習などを継続して復習を重ねる。	
理科	○自然の事象・現象から学習課題を見出す力	○生活体験や自然体験の不足する子供の実生活との乖離をうめる工夫をし、関心を高める。 ○写真や映像資料を集めて提示し、イメージをはっきりさせて、理解への支援を図る。 ○自分たちの手で実験や観察をする機会を多く設定する。 ○実験や観察の際、経験不足を見越し火や薬品の使用、後片付けと確認を徹底させるよう安全指導を行う。 ○実験や観察を行う際には、目的、方法、仮説について確認し、見通しをもって活動に当たらせる指導。 ○データを正確に測定する技能を育てる指導を行う。～時間 重さ 濃度 変化のとりえ方 等	
	○実験や観察の技能、知識		
	○観察・実験した事象を関連づける力	○結果を正しく記録させるとともに、分かったことを自分の言葉で観察カード・ノート等にまとめさせる。 ○自ら調べたり、考えたりする活動を励ましつつ、知識面については、教師主導にて徹底を図る。 ○学習したこと、日常生活との関連を意図的に、示唆して、関心をもたせる。	
音楽	○音楽への関心・意欲・態度の育成	○友達とかかり合う学習を多くする。	
	○音楽表現の創意工夫	○思いや意図をもって活動させる。 ・感じ取ったことを自らの言葉で表現し、互いに伝え合う場を授業の中に設ける。	
	○音楽表現の技能の向上	○練習方法を工夫して、音楽表現の技能の向上を目指す。 ・グループや2人組など様々な学習形態での練習や、スモールステップでの学習を通して、リコーダーの技能の向上を目指す。	
図工	○図工に関する興味・関心の育成	○手や体全体を働かせて、試行錯誤しながら作品を作ることができる題材の工夫をする。	
	○表現方法の育成	○色合いや形を工夫して、作品の中に自分らしさを表現できる力を身につけさせる。	
	○鑑賞能力の育成	○友だちの作品のよさや面白さに気付き、お互いを認め合えるようにする。	
体育	○運動への関心・意欲・態度の育成	○服装を整え、場や用具の出し入れや扱いなど、安全を第一にする指導の徹底をする。 ○授業の導入では、鬼遊び等楽しみながら体力がつくような活動を取り入れつつ活動に誘う工夫をする。 ○体力テスト結果等の現状を把握させてからめあてを自ら設定することにより、記録や技能向上への意欲付けをさせる指導をする。 ○体育講師との連携を密にして役割分担を工夫し、専門性が活かされる授業展開をする。 ○技能ポイントを学習カードや掲示物に明示し、自己評価、相互評価をしながら主体的に運動に取り組む授業展開をする。	
	○運動への思考・判断、技能の向上		